木材ジャーナル名古屋・せいぶ

令和5年1月号　No.188
名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

“いま、木に本気”くらしに活かそう木の良さを

年頭のごあいさつ

名古屋木材組合
組合長　西垣　洋一

2023年 新年の干支「癸卯（みずのとう･きぼう）」に思う

寒気が緩み、萌芽を促す年！！
業界を挙げて新たな価値を創出する変革（イノベーション）の年に！

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

2023年の干支は、「癸卯（みずのとう・きぼう）」になります。「癸」は静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後にあたるため、生命の終わりと新たな生命の成長という意味を持つと共に「揆（はかる）」につながる文字で、植物の内部にできた種子が測れるほど大きくなり、春の間近にして萌え出ずる様を意味しています。「卯」は語源としては「茂（ぼう、しげるの意）」または「冒（ぼう、おおうの意）」で、草木が茂り地面を蔽うようになった状態を表しており、春の訪れを意味します。これらを合わせて考えると、2023年の干支、「癸卯」は、「寒気が緩み、萌芽を促す年」、つまりこれまで準備し、育んできたことが十分に実り、芽吹き始める年であり、勢いをもって大きく飛躍する年だとされています。

長期化するコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻などを起因とする歴史的な円安、供給制約などのインフレ圧力による物価高上昇など、今までの常識、秩序が覆るような出来事が起こり、あらゆる業界で不確実性は高まっています。こうした状況下、我々木材 住宅業界においても、新設住宅着工数の減少が避けられない中で、既存の枠組みを打破し、新たな価値を創出する変革（イノベーション）の必要性が求められています。只、イノベーションと言ってもゼロから新しいものを生み出すということではなく、本来の意味でのイノベーションとは既存の商品・サービスそして事業を複合的に掛け合わせることで新たな価値を創造することだと私は思います。そのためにも皆様と共に業界の問題・課題を見つめ直し、生産性の向上を図ると共に、業界を挙げて新たな需要を生み出す新市場（商品等）や新分野への展開を図ることが喫緊の課題となります。

現在、ウッドショックの余波が残る中、今後、業界が木材の安定供給体制を構築する上では、循環型社会の形成が欠かせません。今まさに木材業界は新たな“転換点”に差し掛かっており、森林・林業・木材産業の全ての業界（川上から川下まで）が一体となり、持続可能な価値を伴ったサプライチェーンの構築に取り組んでいかなければなりません。

又、循環型社会・脱炭素社会を迎えるにあたり、日本は2050年カーボンニュートラルの実現、2030年迄に温室効果ガスを2013年比で46％削減することを国際公約としています。こうした環境問題への危機感がますます高まる中、建築物（中大規模建築物等）の木造化・木質化への更なる推進、環境負荷低減に沿う省エネ性能の一層の向上といった環境と経済の好循環を目指す動きが加速していくものと思われます。そのためにも環境保全と経済成長の両立を目指したＧＸ（グリーントランスフォーメーション）への取り組みとデジタル技術を駆使し生産性の向上を促すＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の更なる推進がこれからの経営の重要なテーマとなります。

本年も厳しい経済環境が予想されますが、組合としましても、脱炭素社会、カーボンニュートラル実現の一翼を担う木材業界に期待が高まる中、誇りと使命を持って循環型社会の形成を推し進め、新たな需要創出に向けて注力して参ります。最後になりますが、皆様のご健康と事業発展を心から祈念申し上げ新年の御挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ

名古屋港木材産業協同組合
理事長　服部　伸一

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は名古屋港木材産業協同組合の運営にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

令和４年を振り返りますと、２月のロシアによるウクライナ侵攻は世界秩序を大きく揺るがした出来事でした。戦争の長期化により石油や天然ガス、穀物の供給が不安定になり、それによってもたらされた物価高は今も家計や企業収益を圧迫しています。

また、選挙遊説中に安倍晋三元内閣総理大臣が銃撃され死亡した前代未聞の事件は、国内外に大きな衝撃を与えました。経済状況については明暗の２極化が鮮明になっており、輸出型の大企業は円安による最高益の更新が相次いだ一方、コスト高で業績の回復に水を差された内需型の企業も目に付きました。

木材業界は、2021年にウッドショックと呼ばれる極度の木材不足や木材価格の急騰は2022年半ばでピークを迎え、在庫過剰が顕著になるにつれ木材価格は下落に転じました。欧米や中国をはじめとする世界的な住宅建築等の需要の減退も木材の荷余り感を助長しました。但し、新しく始まった2023年は「どこかのタイミングで再び木材不足が起こる」といわれており、在庫調整がどのタイミングで完了するかが重要な見極めポイントになると思います。

さて、木産協においては過去２年間、木材会館の有効利用策として外部テナントの入居を進めてまいりました。現在は木産協とは別に、３社のテナント様にご入居いただいており、組合員減による賦課金収入の減少を何とか補っています。

来期においては、木産協本来の役割である組合員の皆様のお役に立てる、もしくは親睦を深められる「事業」をぜひとも企画していきたいと考えています。

関係の皆様には引き続きご指導ご鞭撻いただきますようお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

ご 挨 拶

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は名古屋港木材産業協同組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
本年もよろしくお願いいたします。

名古屋港木材産業協同組合　事務局

お知らせ

西部臨海地区秋季清掃が行われました。
令和４年11月末から12月にかけて実施しました。
西部清掃につきまして、雨の中にもかかわらずご参加いただきましてありがとうございました。

令和４年11月28日　飛島地区（西部地区（飛島ふ頭））
混合ゴミ：6 立方メートル
土　　砂：3 立方メートル

令和４年11月29日　木場金岡地区（西部地区（木場金岡ふ頭））
混合ゴミ：7 立方メートル
土　　砂：39立方メートル

令和４年12月1日　弥富地区（西部地区（弥富ふ頭））
混合ゴミ：3 立方メートル
土　　砂：2 立方メートル

※今年度分から清掃時のゴミ収集方法が変更となります。
ゴミは全て混合ゴミとして扱い、自治体による回収から名古屋港管理組合のごみコンテナへの搬入に変更となりました。そのため、ゴミの単位が立方メートルとなっておりますのでご了承ください。

名古屋港管理組合港湾管理事務所

☆☆☆　西部臨海安全ニュース　☆☆☆

車上ねらいに注意してください！

飛島村木場地内において、駐車中の自動車から現金等が盗まれる被害が多発しています。
犯人は自動車の窓ガラスを割り、車内に保管中のカバンや財布から現金を抜き取る手口を用いています。
車上ねらいは「施錠しているから大丈夫」ということはありません。
車内に、バッグや財布、高額で転売可能な工具類等が置いてあれば、窓ガラスを割ってでも貴重品を盗みます。
自動車は「金庫」ではありません。車から離れる時は「貴重品は必ず持って出る！」を徹底しましょう！

蟹江警察署　生活安全課　生活安全係　TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

発　行　名古屋木材組合
発行者　西 垣 洋 一
〒460 － 0017　名古屋市中区松原２－18－10
TEL〈052〉331 － 9386
FAX〈052〉322 － 3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発　行　名古屋港木材産業協同組合
発行者　服 部 伸 一
〒490 － 1444　海部郡飛島村木場１－74
TEL〈0567〉57 － 2017
FAX〈0567〉57 － 2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会